

重点目標3 地域における男女共同参画の推進



生活や職業能力の向上、自己実現を目指し、いつでも、どこでも、誰もが、主体的に学びの機会を得ることができるとともに、学びや活動を通して得られた豊富なスキルや経験、意欲を持った多様な人材とともに、豊かで活力ある地域づくりを進めます。

《施策の方向》

- 生涯学習の充実と参加しやすい環境の整備
- 地域人材の活用と人材の育成

重点目標4 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大



社会のあらゆる分野において、多様な視点や意見が公平・公正に反映されるよう、主体的に社会参画することへの女性自身の意識の向上を図り、女性の参画が進んでいない分野における人材の掘り起こしと人材育成のための取り組みを推進するとともに、そうした女性が社会参画することへの理解促進を図ります。

《施策の方向》

- 地方自治体における政策・方針決定過程への女性の参画促進
- 女性の人材育成

参加している地域活動の内容(抜粋)

<2015(平成27)年市民意識調査>

参加している地域活動の内容	男性	女性
町内会や自治会の活動	53.3%	46.3%
まちづくりなどに取り組む活動	8.3%	17.9%
PTA活動や子ども会活動	6.7%	25.3%
趣味やスポーツ、文化などのサークル活動	41.7%	40.0%

政策・方針決定過程における女性の参画状況

<2015(平成27)年4月現在>

項目	女性の割合
市審議会等	30.1%
市行政委員会等	7.9%
市議会議員	18.2%
地区まちづくり委員会役員 (うち 委員長・副委員長)	22.8% (0%・13.6%)
鹿嶋市一般行政職 (課長相当職以上)	6.3%



町内会や自治会、まちづくりなどの活動には、男女が同じように参加しているのに、政策や方針を決める場面になると、女性の数は、圧倒的に少なくなっているわ。2015(平成27)年市民意識調査では、女性リーダーを増やすときに障害となることとして、「男性がリーダーとなるのが慣習になっている」「家事など夫や家族の支援が十分ではない」などがあげられているの。

基本目標 3 すべての人に安全安心な生活環境づくり

重点目標1 生涯を通じた健康の保持・増進に向けた支援



互いの性を尊重し、心身とその健康や性のあり方について理解を深め、自らの健康は自らの力で守るとの自覚を持ち、一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、生涯を通じた包括的で総合的な健康支援の取り組みを推進します。

《施策の方向》

- 生涯を通じた健康の保持・増進支援の推進
- 妊娠・出産等に関する健康支援

重点目標2 男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶



ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントなど、個人の尊厳を傷つけるあらゆる暴力は許さないという意識を社会全体に浸透させるため、関係機関と連携・協力し、啓発活動と防止対策を推進するとともに、被害に遭われた方に対する、相談支援体制の充実と保護から自立に至るまでの切れ目ない支援体制づくりを推進します。

《施策の方向》

- 暴力の根絶に向けた意識啓発
- 被害者相談・支援体制の充実

重点目標3 様々な生活上の困難や課題を抱える方への対応



非正規雇用労働者やひとり親世帯など、様々な生活上の困難や課題を抱えやすい方が増加する中で、そうした生活上の困難に対応するとともに、貧困等を防止するための取り組みを推進します。また、高齢者や障がい者、外国人などの社会的弱者が安全・安心に暮らし、社会参画できるよう支援します。

《施策の方向》

- ユニバーサルデザインによる環境整備の推進
- ひとり親家庭等の自立支援の充実
- 災害により困難に直面するあらゆるニーズへの配慮と女性の参画拡大による防災・災害復興対策の推進 など

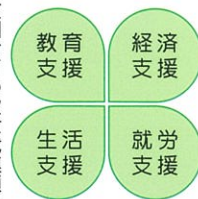
65歳未満の死亡の割合

<茨城県保健福祉統計年報>



市の65歳未満の死亡割合は、国や県と比べて高い状況なの。いわゆる生活習慣病によって亡くなる方が多いわ。心身の健康は、幸せで質の高い生活を送るためには欠かせないものよ。日頃の生活習慣や生活環境を見返して、健康づくりに心がけましょう！

貧困などの次世代連鎖を断ち切るための支援



貧困などの次世代連鎖を予防するため、ひとり親世帯など様々な生活上の困難を抱える方が孤立しないよう、支援につなげるとともに、生活や学び、仕事、住まいなどを社会全体で支えていこうとする取り組みが進められています。



ひとり親世帯や障がい者、高齢者など、とりわけ女性は、出産や育児等により就業を中断したり、非正規雇用に就きやすい就業構造や賃金等の男女間格差などを背景に、男性に比べて貧困に陥りやすい傾向があるわ。経済的な貧困は、経済面だけでなく心の余裕もなくなって、子どもの成長や学習意欲に影響を与えたり、社会に参加する機会を奪うことにつながることもあるの。そうした世代間連鎖を断ち切るための支援が大切になっているわ。

そのほかにも、災害時などは、障がいの有無や国籍、乳幼児や妊産婦など、あらゆる人のニーズに配慮した支援が必要よ。